

令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

| | | |
|-------------------|---|---|
| ふりがな | えんじょうじ ゆうすけ |  |
| 氏名 | 円城寺 雄介 | |
| 所属・役職 | <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙航空研究開発機構（JAXA）新事業促進部 ・佐賀県 政策部 宇宙政策ディレクター ・官民協働プラスソーシャルアクションセンター協働代表 ・一般社団法人こども未来教育協議会 有識者・事業推進副委員長 | |
| 活動拠点 | 佐賀県を中心にこれまで全国各地の地域情報化に携わる。 現在は宇宙航空開発機構（JAXA）で宇宙技術の地域での活用を進めている。 | |
| 略歴 | <p>2001年4月 佐賀県庁入庁</p> <p>2010年4月 佐賀県 医務課 医療企画担当</p> <p>2012年9月 総務省 ICT 地域マネージャー委嘱</p> <p>2014年4月 佐賀県 情報・業務改革課 地域情報推進担当</p> <p>11月 官民協働プラスソーシャルアクションセンター協働代表</p> <p>2016年4月 佐賀県 政策部 政策課</p> <p>2020年4月 佐賀県 政策部 企画チーム ディレクター</p> <p>2021年4月 宇宙航空研究開発機構（JAXA）新事業促進部 （宇宙×地域創生）</p> <p>2024年3月 一般社団法人こども未来教育協議会 有識者・事業推進副委員長</p> | |
| 地域情報化の 専門分野・技術 | <ul style="list-style-type: none"> ・スマートデバイスを活用した救急医療情報システムの構築 ・救急搬送や大病にさせないためのヘルスケア分野での ICT 活用 ・救急隊員の業務改革をヒントにした、自治体職員が机だけでなく「現場」で働くことができるためのモバイルワーク ・ドローンや IoT を活用した次世代型情報システムの構築 ・新型コロナウイルス対応におけるロボット等の活用 ・衛星データなどの宇宙技術を活用した「宇宙×地域創生」 | |
| 専門分野 | EBPM（エビデンスに基づく政策立案）計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等）人材（DX推進のための機運の醸成）人材（DXに関する知識習得・研修・育成）人材（外部人材活用）自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 デジタルデバイス対策 5G 防災 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館 働き方テレワーク RPA導入 医療・介護・健康 農林水産業 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援）観光 スマートシティ ICT活用広報 その他 | |
| 自治体向けメッセージ | 行政の実践者として、また私がアナログ人間だからできるわかりやすい説明で実務支援から講演まで、成功事例だけでなく失敗経験からお話します。 とくに宇宙技術を活用した地域課題の解決など、地域から日本を変えていく 実例と機運をつくっていきましょう！ | |
| 関連サイト | （フェイスブック） https://www.facebook.com/yusuke.engeorge | |

| | |
|--------------------|---|
| | <p>(ツイッター) https://mobile.twitter.com/en_george (その他) TBS「夢の扉+」次回予告 http://www.tbs.co.jp/yumetobi-plus/backnumber/20150201.html 「県庁そろそろクビですか？」(小学館・2016.2 発刊) http://www.shogakukan.co.jp/books/09825257 「自治体ワークス」JAXA との連携によって今後目指していく、精度と実用性の高い災害対策とは。 https://jichitai.works/article/details/671</p> |
| <p>地域情報化に関する実績</p> | <p>これまでの経験業務・研究活動</p> <p>土木、金融、人事を経て 2010 年に医務課。救急車への同乗など「現場主義」で変革を推し進め、全国初の救急車での iPad 活用や救急搬送データを分析しドクターヘリを導入。(小学 5 年生の教科書で紹介されている) その後、県の ICT 利活用全般やオープンデータ活用を担当し、2016 年からは佐賀県庁の業務全体を独立機動遊軍的な動きで攻める特命担当。 2016 年 4 月に発生した熊本地震では本震発生後にいち早く現地入りし、情報収集や被災自治体との調整にも ICT を活用して尽力。 災害時のドローン活用や「忍者×IT」、コロナ対応でのロボット活用、宇宙目線のテクノロジー活用など幅広く取り組んでいる。 2021 年から「宇宙×地方創生」の実現のため JAXA へ。 2019 年～2023 年まで月刊『ガバナンス』誌で「宇宙的公務員 円城寺の先憂後楽でいこう！」で歴史とテクノロジーに関するコラムを毎月執筆。</p> <p>【主な受賞歴】 2012 年 MCPC アワード 2012 グランプリ・総務大臣賞 2012 年 モバイルプロジェクトアワード 2012 モバイルパブリック賞 2012 年 全国知事会先進政策大賞 2013 年 第 8 回マニフェスト大賞 復興支援・防災対策賞 優秀賞 2014 年 地域に飛び出す公務員アワード 2014 2017 年 総務省「電波の日・情報通信月間」九州総合通信局長表彰 経済誌「Forbes JAPAN」『日本を元気にする 88 人』選出 2023 年 経済誌「Forbes JAPAN」『スモール・ジャイアンツ イノベーター』選出</p> <p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートデバイスを活用した救急医療情報システム ・スマートデバイスを活用した職員の業務改革 ・データ分析を用いた新たな政策の立案と実現 ・ドローンやロボット、IoT 活用(消防、医療、観光など) ・熊本地震支援やコロナでのテクノロジー活用(ICT やロボット活用等) ・災害対応や農林水産業における衛星データ活用 <p>2011 年 佐賀県救急医療情報システム(99 さがネット)の構築 2011 年 救急車・病院用のタブレット端末 100 台の調達と運用体制構築 2012 年 総務省 ICT 地域マネージャーとして群馬県への導入支援。 2013 年 佐賀県庁のモバイルワーク(タブレット 100 台実証配備)の支援 2014 年 佐賀県ドクターヘリ通信・情報共有体制の構築 2016 年 熊本地震 リエゾン・被災地支援チームでの災害時 ICT 活用 2016 年 総務省「救急医療・災害における IoT 利活用モデル実証事業」 2017 年 災害時協定に基づくドローンを使った災害時訓練を実施</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>2018 年 電影佐賀忍者プロジェクト（VR、MR、ドローンによる忍法）</p> <p>2019 年 総務省「5G利活用アイデアコンテスト」最終審査員</p> <p>2020 年 医療機関及びコロナ療養ホテルでのロボット活用プロジェクト</p> <p>2021 年 衛星データを活用した災害や農林水産業での地域創生モデル構築</p> <p>2022 年 JAXA で衛星データワークショップを開催（群馬県）</p> <p>2023 年 JAXA で「宇宙ビジネス自治体事例ハンドブック」を刊行し 47 都道府県庁へ配布</p> |
|--|--|